

シルバー な が の

第39号
2018.3月発行
SILVER
NAGANO

公益社団法人
長野県シルバー人材センター連合会
〒380-0841 長野市大門町51番地1
TEL 026-237-4680 FAX 026-237-5665



中山道奈良井宿

奈良井宿は、木曾路の中でも最大の難所鳥居峠の北に位置しています。慶長七年、徳川家康により中山道の宿駅が定められると木曾十一宿の一つとして整備されました。江戸中期には檜物細工や塗物、塗櫛など木工等によって多くの収入を得ていました。木曾谷の住民に尾張藩より下賜された御免白木六千駄の四分の一の千五百駄（一駄は馬一頭が運ぶ荷物の量）が奈良井にあてられており、峠越えの要衝と地場産業の隆盛から「奈良井千軒」とも云われていました。

江戸時代の建築様式をよくとどめている町並みは、昭和五十三年に国の重要伝統的建造物群に選定され、本年四十年という節目を迎えます。この間、町全体の財産として修理修景がしつかり行われてきた奈良井宿は、江戸の宿場を肌で感じる町並みとなっています。

また、平成二十八年には、長野県内初となる日本遺産「木曾物語り」木曾路はすべて山の中、山を守り、山に生きる。の中にも位置付けられるなど、その歴史的・文化的価値は国内外に認められるところとなっています。

歴史を尊重した町のたたずまいが旅の心をくすぐります。

写真・紹介文提供（一社）塩尻市観光協会
問合せ 〇二六三・五四・二〇〇一

安全・適正就業推進大会 塩尻市で開催

10月19日、安全・適正就業推進大会を塩尻市の塩尻総合文化センターにおいて開催しました。当日は、各センターの安全・適正就業推進委員など133名の参加の中、連合会酒井会長の挨拶に続き、大月安全・適正就業対策推進委員長が挨拶を述べ、続いて、7月の安全・適正就業推進月間に募集した、安全標語の入賞者の表彰を行いました。



▲ 酒井会長挨拶



▲ 関専務理事・事務局長

事故であり、これらの事例から、いっどのように石が飛ぶのか？予測できない事がある、と力説されました。

過去の苦い経験から、平成25年6月に、「安全就業・作業前安全確認の徹底について」理事長名による緊急通達。その後も安全就業基準の見直し、罰則規定の見直し強化、危険予知訓練（KYT）への取り組み。草刈就業会員安全講習会の開催など様々な取り組みを行ってきた。

それは、「会員の意識改革」12万1飛んだ場合の防護」の取組みであった。もう一つのアプローチとして「石が飛ばない対策」の検討も併せて行った。

石が飛びにくいチップソーの研究・テストや、持ち運びが簡単な自作防護ネット・カラーコーンの斡旋など。更には、草刈り班長会議により「飛石事故対策」を協議し、センターとしての飛石事故防止対策を図った。（平成28年1月理事会決定）

続いての講演では、上田地域シルバー人材センター専務理事・事務局長の関恵滋氏に、「飛石事故ゼロへの取組み」と題して講演をいただきました。関講師からは、今年度上田地域で発生した、飛石による2件の事故の紹介がありました。

いずれも、普通では考えられない方向への飛石が原因と思われる、自動車破損

選択

・ 摩耗した刃は使用しない
・ 石が飛びにくい回転刃の積極的な使用
・ テストと広く会員に普及を図る

・ シーズン前に新品交換刃の安価な斡旋
こうした取組み努力の結果、平成27年度以降、事故総数及び飛石事故は着実に減少しており、今年度は、今の所冒頭の2件となっている。

上田地域シルバー人材センターとして委員会を中心に、組織を挙げて様々な取組みを行ってきた。その結果、会員の安全に対する自覚に繋がりが、「最後は、やはり安全作業に対する意識と対応が最も大切」と話をまとめられました。

安全就業の研修は、 連合会の浅川指導員

講演に続き、研修では、浅川パトロール指導員から、今年度上半期の事故原因のほとんどは、思い込み、うっかり、面倒など、いわゆる人的ミス（ヒューマンエラー）によって起きているとの分析結果の報告がありました。

こうした事故を起こさないためには、「二人ひとり」が危険に対する感受性を鋭くし、行動の要所所で集中力を高めることが必要」と訴えました。

安全標語・最優秀賞は 安曇野の広田万寿美さん

応募総数670点の中から、外部審査員を交えた審査の結果、安曇野シルバー人材センターの広田万寿美さんの作品が最優秀賞に選ばれ、他の入賞者と共に、酒井会長から表彰状が贈られました。

平成29年度 安全・適正就業標語入賞作品

最優秀賞 安曇野SC 広田 万寿美

「事故のもと
慣れと過信と思いきみ」

優秀賞 諏訪市SC 岩波 辰茂

「無理しない
危険回避の 第一歩」

佳作 駒ヶ根伊南SC 小松原 豊
「手間惜しみ
伸ばした手の先 事故が待つ」

佳作 茅野広域SC 雨宮 泉

「もう一度
これで良いかと 我に問え」

佳作 長野SC 三森 京子
「事故ゼロへ「近道」「脇道」通らずに、
「基本通り」をコツコツと」



▲ 標語表彰

正・副理事長研修会 長野市で開催

本年度の正・副理事長研修会が11月8日、長野市の「ホテル信濃路」で県内21センターの理事長・副理事長37名が参加して行われました。

酒井連合会会長の挨拶に続き、講師に（公社）全国シルバー人材センター事業協会の村木専務理事を迎え、「魅力あるセンターづくりに向けた役員の役割について」と題して講演をいただきました。

【シルバー人材センター事業の現状】

講演では、初めに、シルバー人材センターは、今どういう状況にあるのか？との観点からお話しをされました。

①会員数は、72万人弱であり、この人数は非常に大きなパワーと言える。しかし、年々会員数の減少が止まらず、一番の大きな問題となっている。

②また、女性会員は全体のちょうど3分の1であり、もう少し女性会員を増やす必要がある。

【会員数の推移と課題】

①平成20年度頃までは、60歳以上の人口増加（高齢化）に伴い、会員数も順調に増えてきた。

②一転、平成21年度から平成26年度まで



▲村木専務理事

減少に転じ、7万人減、年平均で1万4千人、毎年1.8%づつ減少が続いた。7万人の減少は、九州からシルバー人材センターが消えてゼロになることに等しい。非常に大きな数字である。

③平成26年度から平成28年度の2年間で、年平均1千7百人減、減り方が10分の1にまでになった。

④このまま減少も止まり、増加に転じるものと期待したが、今年度も、現在までの所ジリジリと減り続けている。

【会員増加に向けての取組み】

■効果のあった会員増加策

①広報・募集において、チラシの作成に当たっては、単に「会員募集中」ではなく、「女性を募集」など具体的なチラシは効果的。

②役員、職員だけでなく会員にも協力してもらい取組む。

③回数・時間・場所等工夫を凝らした入会説明会の開催や、簡素化・スピード化に向けた入会手続きへの改善。

一方、退会抑制策として、

①未就業会員の就業促進策として、だれが相談相手となるかがポイント。職員だけでなく、理事長・理事、更には会員を嘱託として雇うなどが重要。

②会員継続策として、就労目的だけでなく、働けなくなっても、そのまま仲間であられるような、懐の広さも大事ではないか、と考える。

【今後の事業展開】

■高齢者に生きがい就労を提供するだけでなく、高齢者や地域を支える「地域のお役に立つ事業の展開」を念頭に置いていく必要がある。

具体的には、

①要支援高齢者に対する事業として、介護・福祉施設への派遣。これらの施設は、慢性的な人手不足状態。シルバーが得意としている仕事が多くある。

②子育て現役世代や子どもたちへの支援。保育所も大変な人手不足。保育士さんには保育の仕事を中心にやっていただき、我々は一緒に協力して、地域社会で子育てをやっていく。

【シルバー派遣に対する誤解】

シルバー派遣において、大きな誤解がある。偽装請負の問題だ。前から請負でやってきて支障が無い。今後大丈夫だ、と簡単に考えている。

偽装請負を指摘されると、「届出制」から「許可制」になり、事業の継続は困難。改めて、国がガイドラインを作った事の重さを力説されました。

【センターのイメージ向上】

今後は従来のセンターのイメージを変えて行く事が必要。

そのために、マスコミを大いに活用し、正副理事長さんには、センターの顔となつていただきたい、と話されました。

【安全の徹底と、不正経理の撲滅】

最後に、次の2点について、
①働く基本は「安全」。作業中の死亡事故や重篤事故、更に交通事故が近年非常に多い。
②ベテラン職員一人に経理を任せきり。この事が不正経理を生む要因。

以上二点について、特に正副理事長さんには、ご尽力をお願いしたいと切に要望され、話を結ばれました。

業務担当研修会 松本市で開催

12月4日、業務担当研修会が、松本市総合体育館で、県内センターの業務担当職員等46名が参加して行われました。

始めに、連合会浅川安全・適正就業パトロール指導員から「事故報告書作成の仕方について」と題して、話をしました。

報告書の様式は、平成25年度から数えでも既に3回の様式変更がなされ、報告書の記載方法や報告書の留意点等を始め、事故要因の分析や、重大事故に対する再発防止策の記載など、改めて事故報告書の重要性を確認しました。

続いて、「各センターが抱える課題と好事例について」予め提出いただいた課題等につき話し合いを行いました。

本年度は、10センターから、課題15件、好事例1件と、非常に多くの提案をいただきました。

提出された各案件を、提案内容に基づきグループ分けすると、「安全・適正就業」、「会員不足問題」、「会員の高齢化」、「会員の育成」、「その他」及び「好事例」と大きく6つに分類することができました。

中でも、会員の不足や、高齢化、育成面などの課題が、11件と全体の約7割を占め、改めて会員不足に係わる問題が、昨今の大きな課題の中心となっていることが浮き彫りとなりました。

当日は、時間の都合上各分類から数件づつに絞り、提案理由や、各センターでの対応状況について、活発な意見交換が行われました。

高齢者活躍人材育成事業 受講生の声

ライフサポート(日常生活支援) 講習を終えて

原 幸子

子供の手が離れて三十五年。フルタイムで働いてようやく昨年家庭に入る事となりました。達成感と脱力感が同時にやって来て、暫くは、只一日中時間の過ぎ行くままに生活していました。

今迄は時間に追われる毎日で、回りの景色に目もくれる事もなかった日々でしたが、たまにのんびりと車を走らせてみると、荒れた農地や空き家の多さに驚きました。おそらく農業従事者が高齢となり、農業を続けていく事が困難になったのでしよう。家も生活の気配はあるものの、回りの手入れば行き届いてない様子で、物淋しさも感じられます。若い人は職を求め、都市部に居を構える。生活の為に仕方の無いことです。やがて私達もそうなるのか・と我身において考えさせられます。



▲ ライフサポート(日常生活支援)講習

そんな折、友人からこの講習会の誘いがあり、気楽な気持ちで受講しました。

四日間の短期間ではありましたが、どの講座もとても興味深く、座学・実習どちらも大変勉強になりました。九十五歳の義母と同居している私には、認知症の理解、生活支援技術、高齢者の食生活が、すぐ役立つ内容で、とても助かりました。中でも生活支援技術の実習は、衣類の着脱が自分で思っている事と全く違い、「目からウロコ」で、早速役に立ちそうです。

一緒に受講した方達ともすぐ意気投合して、和やかに受講出来ました。中には私よりもずっと先輩の方もいて、元氣もいただきました。

一線を退いて呑気に自分の老いばかり考えていましたが、まだまだ人様のお役に立てるのでは、とさえ思いました。

今後もこの様な講習会があれば、率先して受講し、困っている方々の手助けになればと思います。

人生百年の時代。六十代で引きこもっている場合じゃないのかも。

何となく、若返った気がします。本当に有難うございました。

調理補助スタッフ講習に 参加して

金子 道夫

退職し、家庭菜園にでも精を出すかなと思っていた頃、知り合いの人に「退職して1年位はゆっくりとして、後は何か仕事でもみつけたらどうか。まだ働けるし、役に立てることもあるよ」と声をかけられたのが、シルバー人材センターを知るきっかけとなり、往訪した際に、その活動の一つとして前々から興味のあつ



▲ 調理補助スタッフ講習

た「技能講習調理補助スタッフ講習」のあることを知りました。

元々、料理は好きであり、単身赴任生活も経験していることから、それなりに自分で食べる食事には困ることはなかったのですが、人に提供する商売となると、その知識から技能から何も持ち合わせたものはなく、また、自分の幅を広げられる良い機会であると考え参加を申し込みました。

講習に参加して、感じたことの1点目は、体系の整えられたカリキュラムに基づき、専門家の講師が丁寧に分かりやすく講義や実習を進めており、国の施策に基づき、現場では相当の努力や工夫等を重ね講習会を作り上げてきたのだと感じたことです。一般の料理の講習会としても十分にやっつけていけるものだと思います。

2点目は、専門家としての幅広い知識、応用術、優れた技術を見ることができ、また、安全、衛生面では、今まで思っていた以上に、繊細な神経を使い気をつけ

ていることが痛切にわかり、とても参考になったことです。さすがプロは違うなと感心しました。

3点目は実習です。講師の手際の良い実技を見ることはとても参考になりましたが、いざ、自分たちでやると各自がそれぞれ何の協議も無く仕事を始めてしまいう状況にあり(結果としてはうまくできあがるのですが)コミュニケーションの大切さも教えられた気がしました。

いずれにしても、質の高い良い講習を受けさせていただき、今後の参考になることは間違いがないと想定される講習であったことは言うまでもないことであります。

お世話になりました。有難うございました。

福祉施設アシスタント講習に 参加して

松下 恵美子

長年勤めていた仕事を三月で退職しましたが数か月が過ぎたころより、又子どもたちやあるいはお年よりの方々との関わりのある仕事をもう一度やってみたいと思うようになりました。

そんな折、シルバー人材センターより今回の講座のおさそいを受けました。

最初とはまどいでしたが、講座を受けることにより、今の私にできる事、させてもらえる事、今後に生かせる何かが見つければと思い、受講を決めました。

結論からいえば、本当に充実した有意義な講習会でした。あつという間の6日間でした。数十年ぶりに若がえったように集中して講座を受けることができました。

一日目より人との関わり、コミュニケ

ーシヨンのとり方など、日常生活の中でも一番大切な事を学習しました。

実技講習では、まず自分から進んで体験しなければ何も身につかないということを知りました。今後に対する意欲もわいてきました。がアシスタントとして、どの様にして現場の中で係わっていかばいいのかという不安もわいてきました。

講師の先生が言われてましたが、介護の現場ではげんめつする事のほうが多いという事ですがアシスタントとして仕事に就くことができましたら、この6日間で学んだ事を思い出しながら、又、同じ思いで講座を受けた方々の事を思い出しながらがんばりたいと思っています。



▲ 福祉施設アシスタント講習

福祉移送サービス運転者講習に参加して
渡邊 勇夫

シルバー人材センターに入会して間もなくこの講習を紹介して頂き受講しました。

受講を決めた時から難しい仕事である

ことは承知していましたが、むしろ責任重大な仕事であると自分で納得して受講しました。

いざ、実際に受講してみるとその思いは更に大きく強いものになりました。まずは利用者の理解とその対応、法律に関する事、福祉車両の理解と装置や運転について等々、関連する事柄についての基礎から実技まで学ぶことは沢山ありました。

利用者様の望む移送については、多岐にわたる要素・留意点があること。その実施に当っては利用者様の心を受け止めた対応が必要であることを学びました。今回の講習で最も大きな収穫は『心を受け止める』ことを学んだことだと思っています。

傾聴の心を基礎にして、介護・介助・接遇・移送の方法技術等々があり、それらは傾聴の心が根本にあればこそ成り立つことであると理解しました。

今回学んだこの様な事を活かして、利用者様の望む移送サービスに到達できるように努力することが大切だと思いました。

反省すべき点もかなり有りました。例えば道路交通法、昔に勉強したままで近頃はおろそかにしている為、忘れてしまっている事が多く驚きました。これを機会に正しい知識を身に着けたいと思いました。

四日間お世話になりました講師の先生方、本当にありがとうございます。先生方のご教示を日々の生活の中に活かしてまいりたいと思います。

お世話になりました皆様心から御礼を申し上げます。

平成29年度 高齢者活躍人材育成事業 技能講習実施状況

(平成30年2月8日)

番号	講習名	実施市町村	講習期間	定員	申込者数	受講者数	修了者数
1	福祉移送サービス運転者講習	長野市	10/20～10/31	15	12	11	10
2	調理補助スタッフ講習		7/18～7/27	15	15	12	12
3	福祉移送サービス運転者講習	松本市	8/25～9/4	15	19	17	17
4	ライフサポート(日常生活支援)講習	塩尻市	11/6～11/9	10	13	12	12
5	庭木剪定講習	岡谷市	5/9～5/18	15	14	14	14
6	福祉移送サービス運転者講習	千曲市	7/19～7/31	15	11	10	10
7	庭木剪定講習	飯田市	6/14～6/23	15	18	17	15
8	福祉施設アシスタント講習	松川町	8/24～9/1	15	12	11	11
9	庭木剪定講習	茅野市	6/7～6/16	15	14	12	11
10	ガーデニングと庭園管理講習	佐久市	6/12～11/8	15	17	16	16
11	調理補助スタッフ講習		9/11～9/28	15	20	13	13
12	ハウスクリーニング講習	諏訪市	10/4～10/12	10	10	10	10
13	福祉移送サービス運転者講習	上田市	7/21～8/2	15	20	20	20
14	墓地清掃講習		10/2～10/3	15	33	22	22
15	庭木剪定講習	大町市	7/20～8/1	10	12	10	10
16	観光農園スタッフ講習	小諸市	5/12～1/19	15	16	13	12
17	果樹剪定講習	須坂市	2/2～2/8	10	25	16	16
18	果樹農園スタッフ講習	中野市	5/19～5/26	15	10	10	10
19	福祉移送サービス運転者講習		10/18～11/1	15	17	14	12
20	福祉移送サービス運転者講習	飯山市	10/19～10/30	15	12	10	10
21	福祉移送サービス運転者講習	安曇野市	8/23～9/6	10	9	7	5
22	ライフサポート(日常生活支援)講習	木曾町	10/24～10/27	10	8	7	7
合計				300	337	284	275

公益社団法人
北アルプス広域シルバー
人材センター

シルバーだより



KITAAALPS



七色大かえで
池田町大峰高原 樹齢250年といわれ、毎年紅葉
シーズンには多くの観光客が訪れています

〒398-0002

大町市大町4113番地

TEL 0261-22-2445

FAX 0261-23-5033

- ・理事長 川本 嘉瑞義
- ・副理事長 宮澤 一弘
- ・専務理事・事務局長 倉科 孝志
- ・法人設立 昭和63年6月14日
- ・構成市町村 大町市、池田町、松川村
白馬村、小谷村
- ・会員数 635人(平成29年12月末現在)
- ・契約金額 328,033千円(平成28年度実績)

地域の概要

当センターは県の北西部に位置し、西に中部山岳国立公園の急峻な北アルプス連峰が連なる東西約24キロ、南北約59キロ、総面積約千平方キロメートルに及ぶ広大な地域で一市一町三村で構成されています。梅池高原、八方尾根等日本有数のスキー場をはじめ黒部ダムなど多くの観光資源に恵まれた風光明媚な地域です。

おいしい水が財産

当地域は北アルプスを水源とする豊富でおいしい水が財産でもあります。大町にはそんな「水」にまつわる話があり、名づけて「女清水・男清水の物語」といいます。

「昔のこと、大町の村人は、村の真ん中に道を作り、その道の東側の村人は、東山の居谷里の湧水を使い、西側の村人は、北アルプス白沢の湧水を生活に使い始めたといえます。ところが、東の集落は女の子ばかり、西の集落は男の子ばかりが生まれるようになり、いつしか村人達は東部の水を「女清水」、西部の水を「男清水」と呼ぶようになったのだそうです。

困った人々は、道の真ん中に川を作り、両方の水を合わせて流すようにしたので、それにより更に更に水のおいしく

地域の紹介



芸術祭

北アルプス国際芸術祭

平成29年6月4日から7月30日まで、計57日間にわたり開催され多くの人が大町市を訪れました



女清水



男清水



国宝仁科神明宮

大町市社宮本

仁科神明宮は、わが国最古の神明宮として国宝に指定されています

なった川の両側で、多くの人が住み幸せに暮らすようになったとのことです。」

真意のほどはわかりませんが、今でも大町中央通りの東は女清水、西では男清水が水道水として使用され、複数個所で水が飲めるようになっています。

この旨い水と澄んだ空気は、旨い酒を

醸します。大町市に3蔵、池田町に2蔵の蔵元があり、蔵人たちが冬の寒い時期に自慢のお酒を仕込んでいます。蔵元でのお酒の瓶詰め作業等にセンターの会員が就業させていただき、旨い酒を全国の皆様にお届けする御手伝いをさせていただいています。

公益社団法人
下伊那西部シルバー
人材センター



日本一の星空

平成18年に環境省に全国で星が一番輝いていると認定されました

〒395-0303

下伊那郡阿智村駒場487番地1

TEL 0265-43-2244

FAX 0265-43-2290

- ・理事長 原 英 行
- ・副理事長 佐藤 昭 三
- ・専務理事・事務局長 高坂 博
- ・法人設立 平成20年10月29日
- ・構成市町村 阿智村、平谷村、根羽村
- ・会員数 176人(平成29年12月末現在)
- ・契約金額 46,375千円(平成28年度実績)

シルバーだより



地域の概要

長野県の南部、下伊那郡の西南に位置し、岐阜県と愛知県に隣接する山や渓谷など自然豊かな地域です。阿智村には昼神温泉、日本一の星空、清内路の花火、浪合治部坂高原のレンゲツツジ等や、一昨年、天皇后両陛下が訪問された満蒙開拓平和記念館があります。平谷村には温泉施設を核とする道の駅があり、周辺のみまわりは夏の風物詩となっています。根羽村には観光施設「ネバーランド」、県内最大の月瀬の大杉があり、多くの観光客が訪れています。

センター概況

当センターは、阿智村から国道一五三号線沿いの平谷村、根羽村の三村で構成する広域センターです。平成二十年十月に設立した小さなセンターです。三村の人口は七、七八二人、高齢化率は三十七、〇%(二十九年十月現在)。阿智村に本所、根羽村に支所を設置しています。事業所は少なく、受注は草刈りや草取りなどの屋外作業をはじめ、農業サポート、高齢者等の通院支援など個人を中心とした単発的なものが多く、独自事業として、小学生の長期休みのレクリエーション事業、門松製作を行っています。

当地域は少子高齢化の進行が著しく、阿智村では早くから高齢者の介護予防や生活支援サービス等に取組んでおり(現在は介護予防・日常生活支援総合事業)、その中の一つである介護予防のための「おたっしやかい」事業を当センターが受託し、会員がスタッフとなり村内五か所で週一回、保健師などの専門家の協力を得ながら転倒防止や骨折予防のための体操、栄養の話、口の衛生、歯の話、回想法、脳トレ、歌、季節を楽しむ工作などを行っています。

会員拡大など厳しい状況ですが、地域の担い手として信頼されるシルバー人材センターとなるよう取組みを行っています。



清内路の花火
上・下清内路の神社の秋季祭典で奉納される手作り花火



治部坂高原のレンゲツツジ
「氷河期からの忘れ形見」と言い伝えられている



月瀬の大杉
樹高は40m、幹回りは13.8mの長野県で最大の巨木



平谷村の夏の風物詩
道の駅、ひまわりの湯周辺が一面のみまわり

地域の紹介

満蒙開拓平和記念館
全国で唯一の満蒙開拓の歴史に特化した記念館、天皇后両陛下がご訪問された



事故が増えています!!

平成 29 年 4 月～平成 29 年 12 月における事故件数は、昨年同期と比べ 14 件増えて起きています。増えた件数はすべて傷害事故で、屋外作業で 8 件、屋内作業で 6 件増えています。

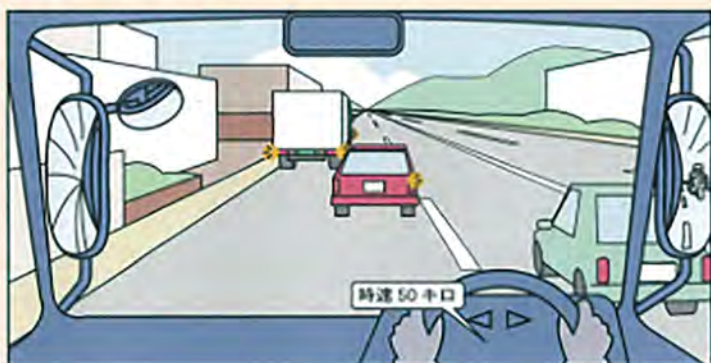
就業前の安全ミーティングで危険予知活動を実施し、危険を見つけ出し、安全対策を確実に実施しましょう。

交通危険予知訓練 (交通KYT) 基礎4ラウンド法とは？

交通危険予知訓練とは、イラストシーツの場面の中であらゆる危険を総点検し、どのあたりにどのような重要な情報が存在するか、自分の弱点はどこにあるかについて、あらかじめ体得することにあります。この訓練を繰り返し実施することにより、実際の「自分の運転」場面では短時間に十分な情報を少ない負担で認知することができ、より安全な運転も可能となります。

〔例題〕

よく見かける状況です。事故を起こす要因がふくまれています。危険を避けるにはどのようにすればよいかチェックしてみました。



【交通場面の状況】

天気は晴れ、あなたは、軽トラックで片道2車線の道路を時速 50Km で走行している。前車が進路変更をしようとしている。

【主な危険要因】

- ①後方の状況を確認せずに右側に進路変更をすると、継続の二輪車と接触する危険がある。
- ②前車が進路変更しようとしているため、右側方の車が減速すると、自車が進路変更した際に追突する危険がある。
- ③進路変更するために減速や停止をした前車に気付くのが遅れると、前車に追突する危険がある。

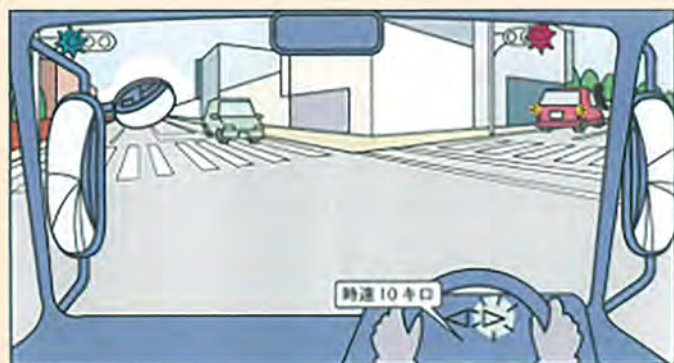
【安全対策】

- ①単路でも、いつ前車が進路変更などのために減速や停止をするかわからないので、常に車間距離を保持しておく。
- ②進路変更するときは、必ず後続車の有無を確認するとともに、継続車があるときは、決して強引な進路変更はしない。

(独立行政法人自動車事故対策機構(NASVA)危険予知トレーニングシート集より)

〔質問〕

さて皆さん 下の図にはどんな危険が潜んでいるか考えてみてください。



【交通場面の状況】

天気は晴れ、あなたは軽トラックで、信号機のある交差点を時速 10Km で右折しようとしている。対向直進車が接近している。右折先の道路に駐車車両があり、歩行者の影が見える。

「安全はすべてに優先する」

=人間尊重の基本理念に基づき

- ・ 会員一人ひとりを大切に
- ・ 厳しく一切の事故も許さず
- ・ 就業場所の危険や問題点を全員参加で解決し
- ・ 安全と健康をみんなで先取りする

あ と が き

最近、ちょっと奮発してシステム手帳を購入しました。今まで、スマホでスケジュールを入力していましたが、「最強の老化防止トレーニングは手書きで文字を書くこと」のようです。三日坊主の自分が、どこまで続くか？
せめて一年は頑張るぞ！ 今年の大きな目標です。